

美祢市生涯活躍のまち構想（案）

～ 地球公園（ジオパーク）で共に生きる ～

平成 28 年 月 美祢市

目 次

1	国における「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想とは	1
	（1）「生涯活躍のまち」構想が目指すもの	
	（2）「生涯活躍のまち」構想の基本コンセプト	
2	「生涯活躍のまち」構想がもたらす多面的なメリット	3
3	「生涯活躍のまち」構想に必要な機能	4
4	美祢市の地域特性	5
	（1）地理的な特徴	
	（2）社会的な特徴	
	（3）人口動向	
	（4）高齢者動向	
	（5）「美祢市生涯活躍のまち構想」に関する地域資源	
5	「美祢市生涯活躍のまち構想」の方向性	10
	（1）ビジョン	
	（2）コンセプト	
	（3）方針	
	（4）「美祢市生涯活躍のまち構想」のイメージ	
	（5）ライフスタイルに応じた雇用と生きがいの創出	
	（6）生活環境と医療・介護サービス	
	（7）実施・検討される施策及びメニュー	
6	事業化スケジュール	24
	（1）事業化に向けた計画策定	
	（2）スケジュール	

1 国における「生涯活躍のまち（日本版CCRC※1）」構想とは

～まち・ひと・しごと創生本部 「生涯活躍のまち」構想（最終報告）より抜粋～

※1 Continuing Care Retirement Communityの略

（1）「生涯活躍のまち（日本版CCRC）」構想が目指すもの

「生涯活躍のまち」構想は、「東京圏をはじめとする地域の高齢者が、希望に応じ地方や「まちなか」に移り住み、地域住民や多世代と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくり」を目指すものであり、構想の主な意義としては、高齢者の希望の実現、地方へのひとの流れの推進、東京圏の高齢化問題への対応、の3つの点が挙げられます。

高齢者の希望の実現

「生涯活躍のまち」構想は、高齢期を「第二の人生」と位置づけ、それぞれの人生のライフステージに応じた新たな暮らし方や住み方を求めて都会から地方へ移住し、これまでと同様、あるいは、これまで以上に健康でアクティブな生活を送りたいという、大都市の高齢者の希望を実現するとともに、新しい生活をつくり、健康寿命を延ばし、人生を充実したものにするための機会を提供する取組として、大きな意義を有しています。

地方へのひとの流れの推進

「生涯活躍のまち」構想は、移住した高齢者が地方で積極的に就労等の社会活動に参画することにより、地方の活性化にも資することを目指しています。地方には、長年にわたって医療・介護サービスを整備してきた地域が多く存在しており、こうした地域では、人口減少が進む中で、高齢者の移住により医療・介護サービスの活用や雇用の維持が図られる点で意義が大きいと言えます。

東京圏の高齢化問題への対応

「生涯活躍のまち」構想は、地方移住を希望する東京圏の高齢者に対して、地方で必要な医療・介護サービスを利用するという選択肢を提供する点で、東京圏の高齢化問題への対応方策として意義があると考えられます。

(2) 「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」構想の基本コンセプト

従来の高齢者施設との基本的な違い

「生涯活躍のまち」構想は、単に高齢者のための福祉施設を整備するという発想ではなく、高齢者が主体となって、地域社会に受け入れながら健康でアクティブな生活を送ることができるコミュニティづくり・まちづくりを行うものです。

従来の高齢者施設等		「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」構想
主として要介護状態になってから選択	居住の契機	健康時から選択
高齢者はサービスの受け手	高齢者の生活	仕事・社会活動・生涯学習などに積極的に参加 (支え手としての役割)
住宅内で完結し、地域との交流が少ない	地域との関係	地域に溶け込んで、多世代と協働

地域包括ケアシステムとの連携

国は、高齢者が重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最終段階まで続けることができるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の実現を目指しています。

地方自治体において「生涯活躍のまち」構想と地域包括ケアシステムに向けた施策が連携して展開することにより、入居者と地元住民に対する各種サービスが一体的に提供され、それにより入居者と地域社会との交流が一層高まり、相互に刺激を与え合い、協働する環境を形成していくことが期待できます。

入居希望者への機会の提供

入居希望者に対して、今後生活することとなるコミュニティに関する意見交換や検討の場に積極的に参画する機会を提供したり、実際にその地域で短期的に生活する「お試し居住」などの機会の提供を通じて、居住意思を丁寧に確認するプロセスが重要となります。

7つの基本コンセプト

- ① 東京圏をはじめ地域の高齢者の希望に応じた地方や「まちなか」などへの移住の支援
- ② 「健康でアクティブな生活」の実現
- ③ 地域社会(多世代)との協働
- ④ 「継続的なケア」の確保
- ⑤ IT活用などによる効率的なサービス提供
- ⑥ 入居者の参画・情報公開等による透明性の高い事業運営
- ⑦ 構想の実現に向けた多様な支援

2 「生涯活躍のまち」構想がもたらす多面的なメリット

「生涯活躍のまち」構想の実現により以下のような恩恵や効果をもたらすことが想定されます。

経済面

近隣他県や市外などから高齢者が移住してくることで、それに関連する産業への雇用創出が期待されます。また、人口の増加は消費拡大につながり、企業業績が向上することで税収増加となり公共施設等の充実が図られるなど生活環境が改善されます。

健康面

高齢者が、生きがいや健康維持につながる活動を行うことで健康寿命が延伸され、将来の医療・介護費用の抑制につながります。

社会活動面

高齢者や移住者が、地域の仕事や社会活動、生涯学習等に積極的に参加することで、地域社会に溶け込み、地元住民や子ども・若者などの多世代との交流・協働が図られます。

まちづくり面

必要に応じて整備される施設等は、新築だけでなく、中古住宅や公共施設等の既存ストックを利活用することで、環境負担が軽減され、経済的優位性が図られるとともに、空き家対策につながります。

また、「生涯活躍のまち」構想により、機能性の高い施設の整備などによって、地域が活性化され、持続可能な暮らしやすいまちの実現につながります。

エネルギー面

機能を集約することで移動にかかるコスト低減につながるとともに、住居や施設等を整備する際には、省エネルギー化に努めることでエネルギーコスト削減が図られます。

分野	生涯活躍のまち構想によるメリット
経済面	雇用創出、消費拡大、税収増加
健康面	健康寿命延伸、将来の医療・介護費用の抑制
社会活動面	社会参加向上、多世代共生
まちづくり面	ストック活用のまちづくり
エネルギー面	省エネルギー化によるエネルギーコスト低減

3 「生涯活躍のまち」構想に必要な機能

「生涯活躍のまち」は従来の高齢者施設とは異なり、高齢者が健康な時から入居し、できる限り健康寿命を長くすることで、地域の仕事や社会活動、生涯学習に積極的に参加する「主体的な存在」となります。また、高齢者が地域社会に溶け込み、地元住民や子ども・若者などの多世代との交流・協働することで生きがいを感じながら生活することができます。

このような、高齢者などが住みやすい環境を実現するためには、「住まい」、「仕事」、「医療」、「介護」、「健康増進」、「教育」などを総合的に提供し、多世代の新たな住まい、人生のあり方という観点から、希望に満ちた暮らしができる環境、歳を重ねるごとにワクワクできる環境、可能な限り主体的に人生を送ることができる環境づくりが求められます。

更に、地域社会に様々なプラスの効果をもたらすよう、多様な団体・組織などと連携し、地域づくりの一環として継続的に取り組むことが「生涯活躍のまち」構想の重要なポイントとなります。

《 必要な機能及び環境 》

機 能

- 住まい
- 仕事
- 医療
- 介護
- 健康増進
- 教育
- コミュニティ
- 社会参加
- 多世代共生

環 境

- 希望に満ちた暮らしができる環境
- 歳を重ねるごとにワクワクできる環境
- 可能な限り主体的に人生を送ることができる環境

4 美祿市の地域特性

(1) 地理的な特徴

- ① 美祿市は平成 20 年 3 月 21 日に美祿市・美東町・秋芳町の合併により誕生し総面積 472.64 平方キロメートルを有しています。




- ② 広域交通体系は、J R 美祿線が南北を縦断しているほか、中国縦貫自動車道、国道 435 号、**国道 316 号**、**国道 490 号**並びに主要地方道等の広域道路網等で構成されています。

<p>飛行機</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 東京（羽田）～山口宇部 約 90 分 <li style="padding-left: 20px;">⇒山口宇部空港から車で 約 60 分 	<p>新幹線</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 東京～新山口 約 4 時間 20 分 <li style="padding-left: 20px;">⇒新山口から車で 約 40 分 <li style="padding-left: 40px;">（高速道路利用） ■ 新大阪～新山口 約 1 時間 50 分 ■ 広島～新山口 約 35 分 ■ 博多～厚狭 約 40 分 <li style="padding-left: 20px;">⇒厚狭駅から車で 約 20 分 <li style="padding-left: 40px;">（一般道利用）
<p>車</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 山口市より（高速道路利用区間 小郡 IC-美祿 IC）約 40 分 ■ 下関市より（高速道路利用区間 下関 IC-美祿 IC）約 45 分 ■ 萩市より（高速道路利用区間 十文字 IC-美祿 IC）約 45 分 <p>※上記は各市役所から美祿市役所までの所要時間</p>	

- ③ 日本最大級のカルスト台地『秋吉台』や国の特別天然記念物である大鍾乳洞『秋芳洞』などがあり、平成 27 年 9 月に「*Mine* 秋吉台ジオパーク※」が日本ジオパークに認定され、自然と文化の交流拠点都市となっています。

※「*Mine* 秋吉台ジオパーク」



「ジオ」は地球、「パーク」は公園を意味し、ジオパークとは、その地域の自然や文化の、成り立ちやしくみを楽しみつつ学べる場所であり、私たちの住む「地球」と、私たちの「生活」との関わりをもっとよく知ろうという想いが込められている。

日本最大級のカルスト台地である「秋吉台」は、今からおよそ 3 億 5000 万年前に南の暖かい海に生息していたサンゴ礁が元となっている。

- ④ 中山間地域にあり年間平均気温は 15.0℃と、年間を通じて快適に四季を感じることができます。
- ⑤ 山口県は全国でも地震が少なく、その中でも美祢市は、約 90 年間震度 3 を超える地震は発生していません。

(2) 社会的な特徴^{※2}

- ① 美祢市は、中国地方の類似都市並びに山口県内の他市と比較して、完全失業率が 4.7%（山口県平均 5.9%、山口県内 13 市の中で最上位）と低く、美祢市から他の市町に通勤する者より、市外から美祢市へ通勤する者が多いことから、比較的雇用のある地域と言えます。
- ② 1 教員当りの小学校児童数と中学校生徒数はいずれも 6.6 人（山口県平均小学校 14.2 人、中学校 12.0 人、山口県内 13 市の中でいずれも最上位）と少なく、行き届いた教育が行われやすい教育環境にあると言えます。
- ③ 市立病院が 2 施設あり、両病院間をシャトルバスが運行しています。介護福祉分野においても、山口県内の他市と比較して介護老人福祉施設数（65 歳以上人口 1,000 人あたり）が 0.42 ヲ所（山口県平均 0.21 ヲ所、山口県内 13 市の中で最上位）と多く、ケア体制の充実が図られています。
- ④ 地域住民の交流の場として、人口 1,000 人あたりの公民館数が 0.45 ヲ所（山口県平均 0.16 ヲ所、山口県内 13 市の中で最上位）と多くあります。
- ⑤ 農地取得について、10 アールから購入でき、初めて農業を行う場合でも、**取組**やすい環境と言えます。

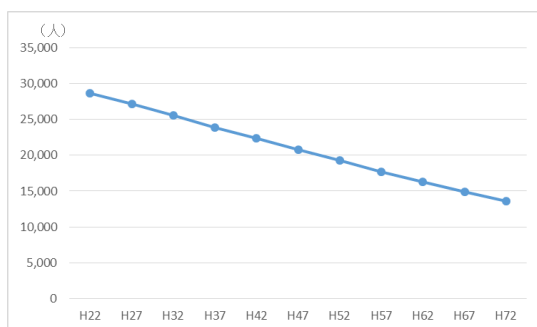
※2 総務省「統計でみる市町村の姿 2014」より

(3) 人口動向

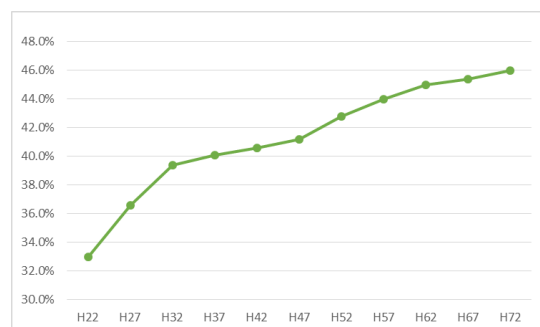
平成 27 年の時点で約 2 万 6 千人の人口は、25 年後の平成 52 年には 2 万人を下回り、平成 72 年には約 5 割にまで減少することが予想されます。

一方で老年人口（65 歳以上）は平成 32 年まで上昇し、その後、減少に転じることが予想されますが、高齢化率は上昇を続け、平成 72 年には 46%に達することが想定されます。

[将来人口推計]



[高齢化率の推移]



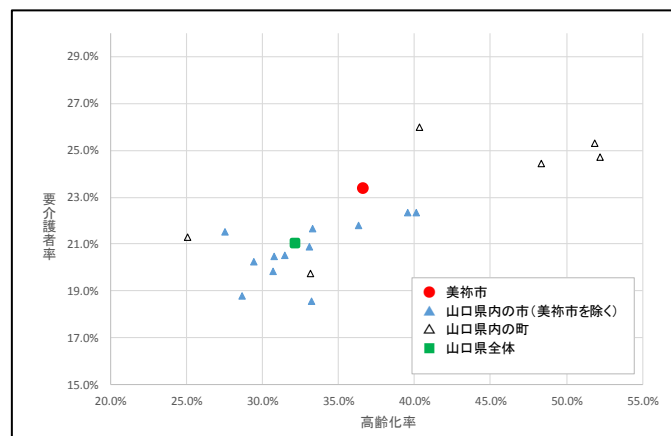
出典) 平成 22 年は、総務省「国勢調査」(平成 22 年 10 月 1 日時点)

平成 27 年以降は、国立社会保障・人口問題研究所の推計準拠(国のワークシートによる推計結果)

(4) 高齢者動向^{※3}

美祢市は山口県の中でも高齢者(65 歳以上)の割合が 36.6%(山口県平均 32.2%)、また高齢者に占める要介護者の割合も 23.4%(山口県平均 21.0%)と、ともに山口県の平均を上回っています。

[高齢化率と要介護者率]



※3 国立社会保障・人口問題研究所 市区町村別将来推計人口(平成 25 年 3 月 1 日推計時点)より

(5) 「美祢市生涯活躍のまち構想」に関する地域資源

472.64 平方キロメートルの市域を有する美祢市は、大嶺町東分地域、美東町大田地域、秋芳町秋吉地域が各地域における拠点エリアとして、また、それぞれの地域内ネットワークの結節点となっています。

交通基盤

市内には、主要幹線道路として、東西に国道 435 号が、また、南北に国道 316 号、国道 490 号が通っています。市の南部には中国縦貫自動車道が通っており、3つのインターチェンジが配置され、美祢東 JCTからは地域高規格道路小郡萩道路が萩市に向かって整備されています。高速道路を利用することで、福岡市、広島市などの主要都市から 2 時間圏内でのアクセスが可能です。

また、山陽側の JR 厚狭駅から山陰側の JR 長門市駅までを結ぶ JR 美祢線が市内を縦断するとともに、近隣には JR 新山口駅や山口宇部空港があり、新幹線や飛行機による首都圏からのアクセスも良好です。

バスについては、主要都市を結ぶ高速バスや、隣接市を結ぶ路線バスのほかに、市内を回るコミュニティバスが運行しています。また、集落の中心からバス停までが遠く、バスの利用が困難な地域においては、ミニバスを運行し、市民の移動手段の確保に努めています。

- 交通インフラ（高速道路：美祢 I C・美祢西 I C・美祢東 J C T、J R 美祢線）
- ミニバス、コミュニティバス など

生活支援機能

美祢市においては、2つの市立病院（美祢市立病院と美祢市立美東病院）をはじめとする17の病院・診療所が、地域の一次医療・二次医療を担っています。また、隣接する宇部市には三次医療を担う山口大学医学部附属病院があり、車両による搬送・移動のほかに、救急医療の確保が必要な場合は山口県のドクターヘリによる搬送等により、医療の広域連携を図っています。

また、美祢市は、介護老人保健施設グリーンヒル美祢や養護老人ホーム共楽荘を有し、2カ所の地域包括支援センターがさまざまな相談に応じ、高齢者が住み慣れた地域で安心して生活続けることができるよう、地域での生活を包括的に支援しています。民間事業者においても介護老人福祉施設をはじめとして、多くの施設を運営しています。

- 病院・診療所、訪問看護ステーション
- 介護老人福祉施設などの介護、福祉施設
- 地域包括支援センター
- 保健センター など

情報ネットワーク

中山間地域にある美祢市は、ケーブルテレビ「美祢市有線テレビ放送」を整備しており、山口ケーブルビジョン（山口市）を含めた市内全体のケーブルテレビ加入率は88%を超えている状況です。

ケーブルテレビは、市からの行政情報をはじめ、美祢市議会の会議の様子や独自放送による地域行事の番組を放送しており、地域の活性化と情報の共有化に大きな役割を果たしています。

- ケーブルテレビ など

産業

平成22年の国勢調査によれば、市内の産業別就業者数は多い順に、製造業、卸売業・小売業、農業、医療・福祉となっています。また、美祢市の特徴的な産業である石灰石採掘企業は大規模な施設を有している事業者が多くなっています。

このほかにも、金融機関や郵便局などが市民の生活をサポートしています。

- 市内企業、事業所
- 金融機関、郵便局 など

教育機関・交流拠点

美祢市には2つの高校があり、市内の高校進学を受入れ先となっています。

また、平成27年4月より山口県立宇部総合支援学校美祢分教室が開校され、障害の有無に関わらず市内で学ぶことができる共生の環境づくりが整いました。

更に、美祢市全域を範囲とする Mine 秋吉台ジオパークは、平成27年9月に日本ジオパークに認定され、生活する市民において大きな誇りと希望となっています。

- 小学校、中学校、高等学校、山口県立宇部総合支援学校美祢分教室
- 統廃合により閉校となっている校舎等
- 公民館
- Mine秋吉台ジオパーク関連施設
- 美祢社会復帰促進センター など

関係機関

美祢市では、限られた行政資源で、多様化する市民ニーズに効果的効率的に対応するため、山口県や国立大学法人山口大学をはじめとする包括連携・協力協定を締結している関係団体などとの連携により、協働のまちづくりを進めています。

- 山口県
- 大学等教育機関
- 医療機関
- 社会福祉法人（社会福祉協議会等を含む）
- NPO法人
- シルバー人材センター
- コミュニティ団体（文化、観光、スポーツ、市民活動） など

5 「美祢市生涯活躍のまち構想」の方向性

(1) ビジョン

美祢市では、平成27年10月に、人口減少問題に対応し、将来にわたって活力ある地域社会を維持していくための目標や施策をまとめた「美祢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。また、総合戦略には柱となる4つの重要戦略を掲げており、「生涯活躍のまち」はその1つとして取り組むことにしています。

この構想は、美祢市の将来を担う重要な施策であり、地域住民の定住促進と他の地域からの移住者の受け入れによる人口の維持・拡大を最大の目的としています。

この目的達成のため、次の2つのビジョンを掲げます。

- 年齢や性別に関わらず、共に支え合い健康でアクティブな生活を送ることができるまちづくり
- 安心して必要な医療・介護を受けることができる環境の整備や、生きがいを持って暮らすことができる仕組みをつくることによる、美祢市で暮らすことの幸福感的向上

(2) コンセプト

「美祢市生涯活躍のまち構想」では、次に掲げる6つのコンセプトを柱に取り組んでいきます。

- ① 住民が『共生』するまちづくり
- ② 継続的なケアを基にした『つながり』ある社会の構築
- ③ 就労及び社会貢献活動を通じた『生きがい』の探求
- ④ ITを活用した『安全・安心』なサービスの提供
- ⑤ 地球公園という名の大地で生活する『誇り』の醸成
- ⑥ 参画と交流による『幸福感』の向上

《 コンセプトの内容 》

① 住民が『共生』するまちづくり

少子高齢化が進む美祢市では、今後、市民の支え合いが益々重要となります。老若男女、障害の有無に関わらず交流や共助を推進することは、それぞれに活躍の場を生み出すとともに、一人ひとりが必要とされ、能力を発揮することができる環境づくりにつながります。また、これは「ノーマライゼーション※」や、「ソーシャル・インクルージョン※」の理念にも通じ、多様な人が活躍できる社会の創造につながるものです。

このことから美祢市では、年齢や性別、障害の有無にかかわらず、共に支え合うまちづくりを目指します。

※「ノーマライゼーション」

障害者や高齢者など社会的に不利を受けやすい人々が、社会の中で他の人々と同じように生活し、活動することが社会の本来あるべき姿であるという考え方。また、弱者がスムーズに社会参加できるような環境の成立を目指す活動、運動のこと。

※「ソーシャル・インクルージョン」

「社会的包容力」「社会的包摂」などと訳される。社会的弱者を社会から排除するのではなく、誰もが社会の一員として包括され、社会の中で共に助け合っていこうという考え方。

② 継続的なケアを基にした『つながり』ある社会の構築

各地域で自立した生活を送り、その後要支援・要介護となった時には、地域全体で共に見守り、支え合うことができるコミュニティ《地域とのつながり》と、市内の東西に位置する2つの市立病院をはじめとした医療・介護施設との連携《医療と介護のつながり》、地域包括ケアシステムの充実により、安心して継続的なケアが受けられる社会を構築します。

③ 就労及び社会貢献活動を通じた『生きがい』の探求

秋吉台や秋芳洞など、美祢市には豊富な地域資源があります。その豊かな自然を活かした観光と農業は、美祢市の大きな産業であり、そこには一人ひとりが活躍できる場があります。スキルを活かした就業・起業支援や後継者の確保、観光ボランティアをはじめとした社会貢献活動の機会提供、農林産物の高付加価値化やブランド化、6次産業化への参加促進と人材育成など、一人ひとりが役割を担い、生きがいを持って暮らせる場を創造します。

④ ITを活用した『安全・安心』なサービスの提供

医療・介護サービスにおいて、ITの活用や地域住民の積極的な参加を実現することで、安否確認、買物支援、健康管理など、ニーズに応じた安全・安心で質の高いサービスの提供とともに、医療・介護従事者の負担軽減を図ります。

⑤ 地球公園という名の大地で生活する『誇り』の醸成

秋吉台の地下水系は、国際的に重要な湿地であるラムサール条約湿地に登録されており、平成27年9月には美祢市全域が「Mine秋吉台ジオパーク」に認定されました。この壮大な大地に暮らすことに誇りを持ち、市民一人ひとりが自信に満ち溢れた生活が送れるような地域社会を実現します。



⑥ 参画と交流による『幸福感』の向上

地球公園である市内には、秋吉台をはじめとするウォーキングのコースや、生涯スポーツとして人気のあるグラウンドゴルフ場など、アクティブな生活を送ることのできる場所が多くあります。更に、美祢市内13カ所の公民館においては、地域の特性を活かした公民館活動が積極的に行われており、美祢市内に分散している空き家や現在使われていない公共施設などを、多世代が交流することのできる施設「地域交流拠点」として活用することで定住促進につなげます。

このことにより、世代を超えた積極的な交流による「ソーシャル・キャピタル※」を形成し、美祢市で暮らすことの幸福感を高めていきます。

※「ソーシャル・キャピタル」

社会や地域における人々の信頼関係や協調のこと。人々の協調行動を活発にすることによって、社会の効率性が高まるという概念で、個人レベルでは「人とのつながり」、地域レベルでは「地域の力」と表現できるようなものを言う。

(3) 方針

美祢市では、大嶺町東分地域、美東町大田地域、秋芳町秋吉地域が、地域における拠点やネットワークの結節点となっています。また、市内には分譲地や空き家、**現在使われていない公共施設**が点在しており、これらは「**美祢市生涯活躍のまち構**」における「地域交流拠点」として、多世代と交流し、健康教室やボランティアなど老若男女の生きがいの創出の場としての活用が期待できます。

加えて2つの市立病院を有していることは、市民の安全・安心の確保につながっており、「地域包括ケアシステム」の構築を図ることにより、コミュニティの持続性が高まるなどの効果も期待できます。

このことから、居住環境の提供、多世代の交流、ボランティアなどの生きがいを通じ、健康な時から人生の最終段階まで安心して自立した生活を送ることができる市全域を対象とした「生涯活躍のまち」を目指します。

ビジョン

共に支え合い健康でアクティブな
生活を送るためのまちづくり

必要な医療・介護を受けるための環境の整備や、
生きがいを持って暮らすための仕組みづくり

コンセプト

『共生』

『つながり』

『生きがい』

『安全・安心』

『誇り』

『幸福感』

方針

健康な時から人生の最終段階まで安心して自立した生活を送る
ことができる市全域を対象とした「生涯活躍のまち」を目指す

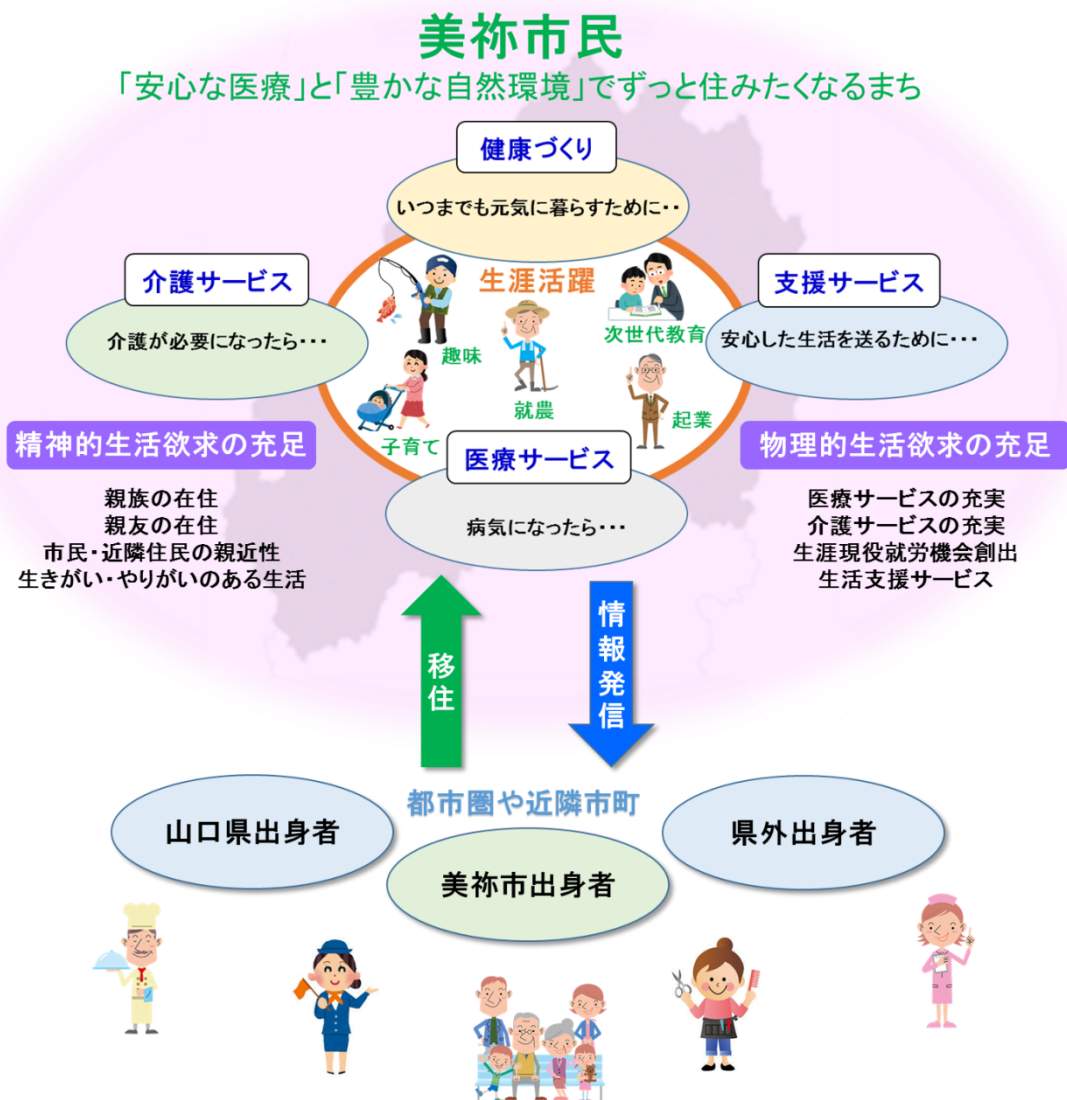
(4) 「美祢市生涯活躍のまち構想」のイメージ

「美祢市生涯活躍のまち構想」を実現することで、高齢者などを継続的に地域で見守っていくための『地域ケア力』の向上を図ります。

また、2つの市立病院を有していることや、全域がMine秋吉台ジオパークに認定されていることなどの地域特性を活かし、健康づくりや就労、社会生活、生涯学習などを通じた、安心して自分らしい生活ができる環境を整えていきます。

新たな地域の担い手となり得る移住者も、この枠組みの中に加わることで、地域住民との交流が深まり、共に生きがいを持ち、心豊かな生活を送ることができる環境を享受できます。

[「美祢市生涯活躍のまち構想」のイメージ図]



(5) ライフスタイルに応じた雇用と生きがいの創出

市全域を対象とした「生涯活躍のまち」では、多様化するライフスタイルに合わせた活躍の場や生きがいの提供が可能です。

想定モデルとして、「就農」、「趣味・ボランティア活動」、「観光・文化活動」、「起業」の4つのモデルを以下に例示します。

【 想定モデルⅠ 】

『就農』～自然に囲まれた環境で、農業に関わって生活したい！

● 想定される生活の一例

(就農に関する部分)

- Mine 秋吉台ジオパークで育つ特産品「美東ごぼう」、「秋芳梨」、「厚保くり」などの生産や6次産業化の商品開発・生産に従事
- 先輩農家等からの農業指導を受けながら安心した農家ライフのスタート
- 収穫した農産物が食卓に並ぶ自給自足の生活
- 近隣住民や農家同士のコミュニケーション
- 農家民泊や農業体験の機会を自ら提供
- 教育機関や障害者施設等への生産品提供及び食育提供

(生活に関する部分)

- ITやケーブルビジョンを活用した情報環境で、遠隔地との交流も可能
- 中心市街地から離れていても、近隣の診療所を利用した安心のケア体制

【就農モデルのイメージ】



【 想定モデルⅡ 】

『趣味・ボランティア活動』～存分に趣味やボランティア活動を謳歌する！

● 想定される生活の一例

(趣味に関する部分)

- Mine 秋吉台ジオパークを活かして、追求も広がりもできる趣味活動
 - ・トレッキング、山歩き、ランニング、ウォーキング、サイクリング
 - ・釣(り) (日本海や瀬戸内海へのアクセスも良好)
 - ・ゴルフ (グラウンドゴルフ)
 - ・家庭菜園 など
- ボランティア活動
 - ・高齢者の見守り
 - ・健康増進活動 (ヨガ、ダンスなど) のインストラクター など
- 趣味やボランティア活動から広がる地域交流
- 放課後子ども教室など知識や経験を活かした次世代教育

(生活に関する部分)

- 現在使われていない公共施設等を活用したコミュニティ活動による健康づくりや生涯学習
- 公民館活動などを通じた、障害者や子育て世代との交流
- 近隣の診療所と総合病院の連携による充実した医療体制

[趣味・ボランティア活動モデルのイメージ]



【 想定モデルⅢ 】

『観光・文化活動』～地球公園に住む楽しさや魅力を伝えたい！

● 想定される生活の一例

(観光・文化活動に関する部分)

➤ Mine 秋吉台ジオパークなどの観光資源の価値向上や文化活動による地域貢献

- ・ ツアーガイド
- ・ 通訳
- ・ 観光企画
- ・ 学術研究
- ・ 自然保護と活用 など

➤ 地元企業や学術機関との観光連携を通じた人的交流

➤ 観光客などとの地域を越えた交流

➤ SNS等を活用した観光資源などの情報発信

(生活に関する部分)

➤ 自然を活かした地域イベントへの参加

➤ 市街地へのアクセスも良好で、近隣の診療所による安心のケア体制。

[観光・文化活動モデルのイメージ]



【 想定モデルⅣ 】

『起業』～これまでのノウハウや経験を活かし、もう一花咲かせたい！

● 想定される生活の一例

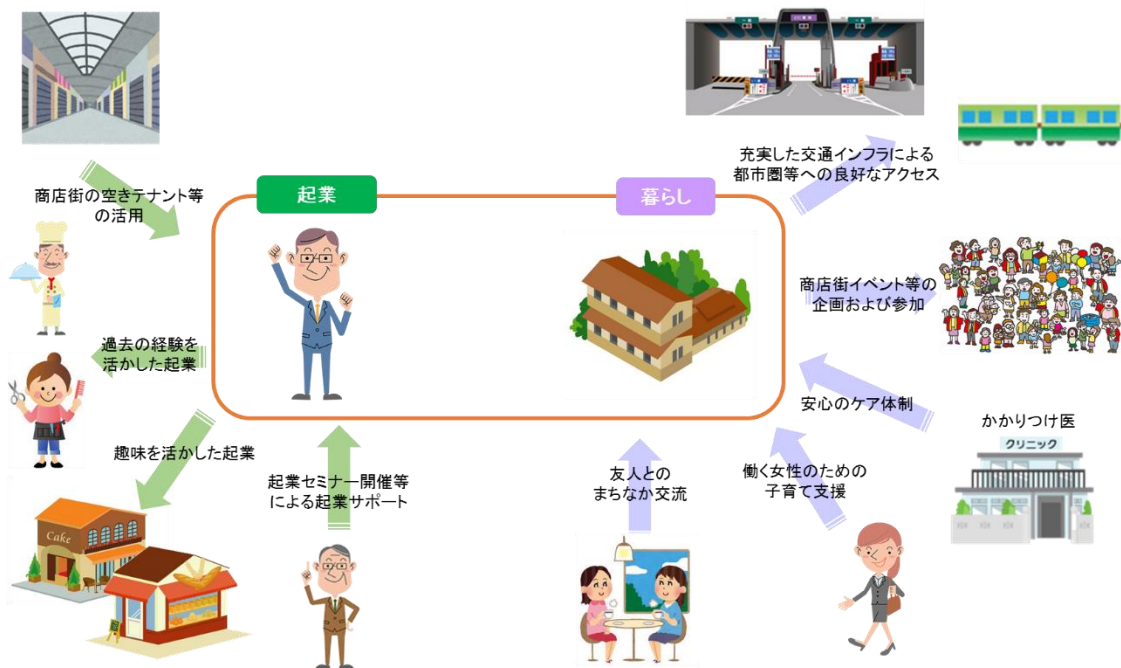
(起業に関する部分)

- Mine 秋吉台ジオパーク **関連の事業**や過去の経験、ノウハウ、趣味などを活かした起業
- 充実した起業支援
 - ・ 商店街の空きテナント等の活用
 - ・ **起業セミナー開催等による起業サポート** など
- 商店街や自治会活動でのイベント企画や参加による地域交流

(生活に関する部分)

- 生活利便施設（スーパーなど）やカフェなどの交流拠点が整った環境での生活
- 働く女性のための子育て支援
- **交通インフラや医療環境も充実**

[起業モデルのイメージ]



(6) 生活環境と医療・介護サービス

アクティブに自立した生活を送れるライフステージと、要支援・要介護を必要とするライフステージでは、生活環境や居住施設、必要とされるサービス等が変化してきます。

居住施設としては、既存の公営施設や空き家、集合団地の未分譲地等を活用することが検討されます。また、アクティブ期にはソフト面において必要と思われる「配食・買物支援サービス」や「介護サービス」等のサービスを提供する側に従事し、要支援期や要介護期にはサービスを受ける側となるような、世代を越えて地域で支えあう支援体制の形成を理想とします。

[ライフステージに合わせた生活環境と医療・介護サービス]



(7) 実施・検討される施策及びメニュー

「美祢市生涯活躍のまち構想」を推進していくにあたり、既に実施している関連施策や、検討中もしくは今後検討していく施策・メニュー、現時点においてはアイデア、試案段階であるもの等を記載しております。これら施策・メニューを充実していくことで、一層の推進を図ります。

① 自立した生活が続けられる住環境の形成

《対応しているコンセプト：『共生』、『つながり』》

高齢者などが多世代と交流・協働ができる多様な居住空間やバリアフリーの整備など、空き家や構造改革特区制度※の活用も含め、自立した生活が続けられる住環境の形成を図ります。

※「構造改革特区制度」

特定の地域を限定して、全国一律の規制を特例的に緩和する制度

● 実施・検討される施策

- 最大300万円の住宅購入補助金制度【実施中】
- 住宅リフォーム助成事業、空き家リフォーム支援事業【実施中】
- 空き家等情報バンク制度【実施中】
- お試し移住制度、短期・季節入居モニター
- 高齢者に対するバリアフリー空間の整備、バリアフリー住宅の新築補助金
- 高齢者、障害者、子どもたちとの交流が深まる地域交流施設の整備
- 高齢者居住施設と若い世代の利用施設（学校、保育園等）との融合

② シニアの健康維持・増進

《対応しているコンセプト：『つながり』、『安全・安心』》

アクティブシニアの活動による地域活力の向上や介護予防、認知症予防などの健康増進活動を通じて、シニアの健康維持・増進を図ります。

● 実施・検討される施策

- 予防接種費の助成、がん検診の実施【実施中】
- 介護予防教室、ウォーキング教室の実施【実施中】
- 認知症の見守り、徘徊対策の強化【実施中】
- 官民連携による定期健診受診率の向上
- 健康メニューやレシピの提供
- ITを活用した介護記録や診療記録などの共有化

③ 活動の場づくり

《対応しているコンセプト：『生きがい』、『誇り』、『幸福感』》

知的好奇心を満たす場、自身のスキルを活かせる場などによる生きがい創出やボランティア活動等を通じた社会貢献など活動の場を提供します。

● 実施・検討される施策

- 生涯学習プログラム「学んでみ～ね」への登録【実施中】
- ジオパーク活動（保全活動）の展開【実施中】
- ジオガイド育成セミナー【実施中】
- マンガ塾の開催【実施中】
- 環境保全、自然保護活動（美祢市自然保護協会等に所属）【実施中】
- みねシュラン（美祢おもてなしびと）の認定【実施中】
- 有償ボランティア登録や活用制度の構築
- ボランティア活動・講座の充実
- オーナー農園制度
- NPO法人、市民活動等の活性化

④ 交流の促進

《対応しているコンセプト：『誇り』、『幸福感』》

日常生活の中での地域の子どもや学生との交流、生涯学習を通じた大学生や留学生との交流、育児相談など子育て世代との交流など、高齢者や移住者が、年齢や性別に関わらず地域内で交流できるコミュニティづくりを推進します。

● 実施・検討される施策

- いきいき・ふれあいサロン活動【実施中】
- 中学生と乳幼児のふれあい体験、家庭科学習【実施中】
- 秋吉台を主会場としたイベントの開催（マラソン大会、ウォーク大会、サイクリイベント、花火大会等）【実施中】
- 美祢社会復帰促進センターと地域貢献支援、地域との共生活動
- 知的・文化交流拠点の利便性向上（秋吉台科学博物館、秋吉台国際芸術村等）
- 高齢者と保育園児との年間交流スケジュールの作成
- 地域を越えた観光交流と誘致活動の推進
- 公民館活動の活性化による多世代交流拠点の創造

⑤ 人材育成・確保

《対応しているコンセプト：『共生』、『生きがい』》

自身の成長・研鑽はもとより、高齢者が過去の経験を活かした、児童・生徒に対する学力向上支援や、ビジネス人材等を活用したコミュニケーション能力の養成を行うなど、シニア層の活躍の機会を創出します。更に、ものづくり・芸術・文化などの技能を地域の若者へ伝承することにより、次世代を担う若者の育成に努めます。

● 実施・検討される施策

- 市内医療機関就労で返還免除の看護師奨学金【実施中】
- 県立農業大学校の学費相当額の補助【実施中】
- 介護福祉士の資格取得費補助
- 大学、専門学校、事業者連携による看護師や介護福祉士の育成
- 放課後学習支援（元教職員や塾講師、教育に興味のある方が、学校教育とは別に、学習面や生活面の教育体制を整備）
- 空き家を利用したアトリエや、地域住民向け芸術・文化教室の開講
- 技術、経験が豊富なシニア層の雇用促進や活躍できる仕組みづくり
- スポーツ指導者の移住奨励
- 農家による新規就農者教育の実施
- 子育て支援員の養成

⑥ 新産業創出・雇用の創造

《対応しているコンセプト：『生きがい』、『安全・安心』》

技術やノウハウを持った移住者の受入により、既存産業の振興や付加価値の高い新たな産業の創出、ITを活用した新たな医療・介護サービスの提供などにつなげるとともに新たな雇用を創造します。

● 実施・検討される施策

- 美祢市地域ブランド「ミネコレクション」の推進化事業【実施中】
- 職業相談、就農相談支援【実施中】
- 美祢あきない活性化応援事業【実施中】
- 新規就農後5年間の家賃補助（上限2万円/月）【実施中】
- 美祢市に移住し、起業（継業）する事業者への経費補助【実施中】
- 企業誘致の強化【実施中】
- 大学や企業等との連携による実証実験の取組や、付加価値を生むビジネスモデルの創造

- シニアや女性起業家への支援（起業塾、補助金、出資）
- 女性活躍推進（保育支援サービスの充実、企業へのワークライフバランス推進など）
- 新産業創出による障害者雇用の機会を創造
- 高齢者サービス充実に伴う医療・介護人材の雇用創出

6 事業化スケジュール

(1) 事業化に向けた計画策定

美祢市は「美祢市生涯活躍のまち構想」を策定し、今後、本構想を実現していくために、「美祢市生涯活躍のまち協議会（仮称）」（以下、「協議会」という。）を設置し、事業化に向けた美祢市生涯活躍のまち基本計画（以下、「基本計画」という。）及び美祢市生涯活躍のまち事業計画（以下、「事業計画」という。）を策定します。

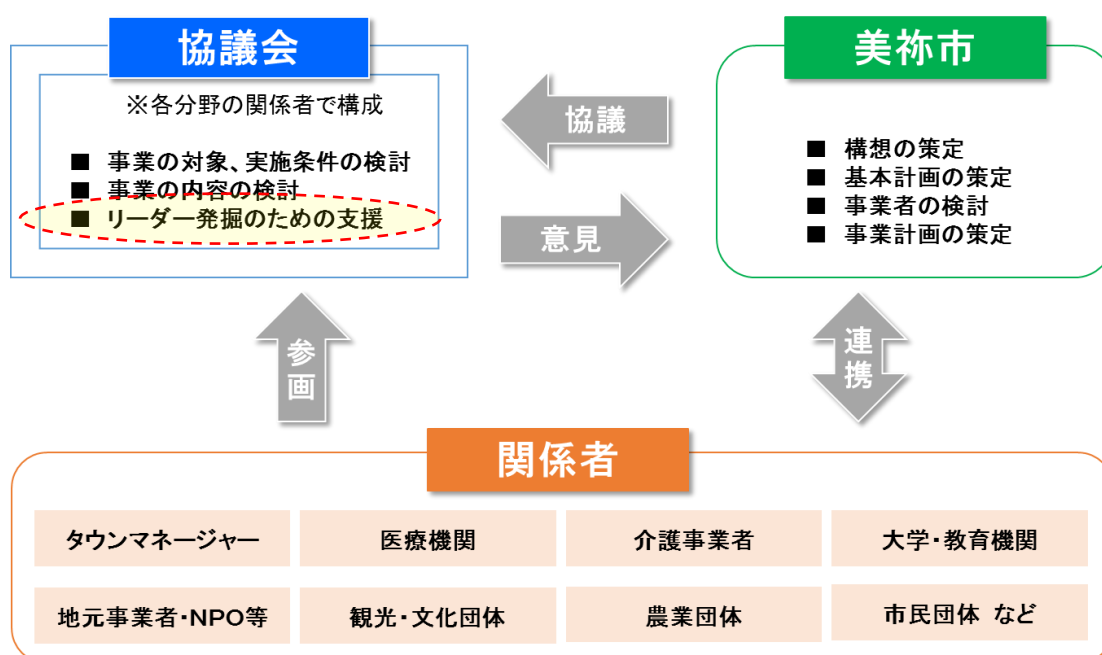
協議会の構成メンバーは、本構想を基に具体的な検討・協議を行うため、事業運営に関わる可能性がある民間事業者や本構想を実現するために必要となる分野（医療・介護、教育、福祉、観光・文化、農業等）の関係者により組織する予定です。

なお、基本計画においては、事業の対象や実施の条件などを協議するとともに、必要に応じた事業者選定も検討していきます。

また、事業計画では、事業実施者や関係団体等と、施設や人材、事業内容などの検討を行います。

「美祢市生涯活躍のまち構想」には、まちづくりの要素も含まれています。まちづくりを形にしていくためには、行政・民間・地元団体等の関係者間をつなぐ「地域のリーダー的な存在」が必要となります。地域のリーダー的な役割を担う人材や事業者（タウンマネージャー等）を、発掘・養成していくことも本構想の実現のためには重要です。そのため、対象者の協議会への参画を促し、将来リーダーとなる候補者の養成・育成や、場合によってはノウハウを有した適切な人材や事業者を他所より招聘することなども視野に入れて取組んでいきます。



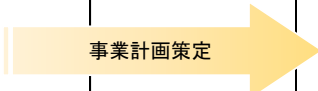

[事業化に向けた推進体制]



(2) スケジュール

- ①実施期間 : 平成27年度～平成31年度
 ②目標 (KPI) : 美祢市が住みよいと感じる人の割合 70%

[スケジュール表]

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
構想策定	 <ul style="list-style-type: none"> ■ 構想のビジョン、コンセプトの設定 ■ 実施・検討される施策及びメニューの検討 				
基本計画策定		 <ul style="list-style-type: none"> ■ 推進体制の構築(協議会の設置) ■ 事業対象や実施条件の協議 ■ モデル地域(エリア)の設定 ■ 具体的な機能(役割)の検討 ■ 地域包括ケアシステムの構築 ■ ワークショップやセミナー、シンポジウム等の実施 ■ 事業計画策定に向けた事業者、資金計画、スケジュールの設定 			
事業計画策定			 <ul style="list-style-type: none"> ■ 施設や人材、資金の確保、事業内容の検討 ■ 事業主体による「事業計画」の策定 		
事業推進	 <p>《キックオフ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 市民向け講演会の実施 				